【資料 ６】

（７）平成３０年度 地域包括ケアの事業計画（主な事業）について

１　地域での取り組み

全町内福祉委員会による見守り活動を継続する。中学校区ごとに複数の町内福祉委員会を指定し、活動の強化を図る。

地域福祉計画策定のための地域会議を各町内会で複数回開催する。

２　地域ケア会議の開催と各部会の活動

（１）地域ケア個別会議の開催

対応困難事例を中心に開催する。高齢者の自立支援のための地域ケア個別会議の開催に向けた調整を行う。

（２）地域ケア地区会議の開催

各地域包括支援センターが掲げる地域課題の解決に向け、地域ケア地区会議を開催し、必要に応じ保健福祉部会での検討や地域ケア推進会議への提案につなげる。

ｾﾝﾀｰ名	地域ケア地区会議のテーマ
さとまち	「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」～認知症の理解を深めるためには？～
中部	認知症に関する住民の対応力の向上を図る。
八千代	・地域活動における地域住民と専門職との協働と連携について ・地域に存在する多様な福祉課題に対応できる仕組みについて
更生	「地域住民と専門職がともに取り組める継続可能な介護予防について」
松井	住民主体による生活支援の仕組みづくりにむけて
あんのん館	・地域住民と医療・介護・福祉専門職との連携を深める。 ・それぞれの活動内容を共有し、お互いの理解を深める。 ・地域で出来ること、専門職に期待することを知り、各町内の地域課題を検討する。
ひがしばた	「運転免許証を返納した後、わたしならどうするか？」
小川の里	「認知症について考える～地域でどのような取り組みが出来るのか考える～」

（３）地域ケア推進会議の開催

ア　地域ケア地区会議から提案された課題の解決策について協議する。

イ　在宅医療・介護に関する課題の抽出と対応策の検討を行う。

ウ　在宅医療介護連携のための研修会

【資料 ６】

部会名	内　　容（予定）
訪問看護 ケアマネット	訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会
訪問リハネット	自立支援を目的としたリハビリテーションの視点を学ぶ ～地域ケア会議に呼ばれたとき、お役に立てる療法士を目指して～
医師会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会
デイネット	地域と事業所と他事業所との連携づくりについて
グループホーム 小規模多機能	認知症の BPSD について/地域密着型施設のあり方
保健福祉	（仮）支援における家族理解について ～８０５０問題を医療・介護・福祉はどう支えるか？～
歯科医師会	口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」
施設	①多様化する介護従事者への対応　または ②介護現場での接遇・マナー
病院	多職種ワークショップ研修会 「多職種連携（IPW)の障壁を低くするためには」
デイネット	魅力ある職場環境を整備しよう！
薬剤師	在宅で薬剤師ができること
ヘルパーネット	生活サポーターとの連携

３　在宅医療介護連携の推進

（１）在宅医療サポートセンターの設置

安城市医師会に委託し、八千代病院内に安城市在宅医療サポートセンターを設置し保健師２名（病院職員、医師会職員）を配置。地域包括支援センターをはじめとする専門職及び市民からの在宅医療に関する相談に応じるとともに、在宅医療の課題、解決策の検討を行う。

（２）安城市医療・介護・福祉ネットワーク「サルビー見守りネット」

サルビー見守りネットの活用の推進。市をまたいだ広域的な利用ができるよう近隣市と協定を締結する予定。

（３）在宅医療に関する普及啓発

在宅医療ガイドブックの作成し、市民、関係者で活用し、在宅医療の普及を図る。

４　認知症施策の強化

（１）あいちオレンジタウン構想「認知症に理解の深いまちづくりモデル事業」

愛知県から受託し、平成３０年度から３年間取り組む。県内１０市が選定され

モデル事業を実施する。

認知症サポート医との協力体制の検討、若年性認知症介護者のつどい、専門職向け介護者支援研修、専門職の認知症対応能力向上研修などを実施する予定。

次年度以降は企業との協力体制を検討していく予定。

（２）認知症高齢者等捜索声かけ模擬訓練

地域包括支援センター主催で、各中学校区で１回程度開催。

９月１５日（土）に敬老事業の一環としてデンパークで開催予定（市主催）

（３）見つかるつながるネットワーク

認知症高齢者等捜索声かけ模擬訓練、認知症フォーラム等で制度を周知する。

（４）認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座

学生や働き盛りの年代へのＰＲ方法を検討。また、ステップアップ講座受講者が活躍できる場づくりの機会を持つ。（５（２）参照）

５　生活支援体制整備事業の拡充

（１）第１層生活支援コーディネーターを高齢福祉課に１名配置。ＮＰＯや生協などが行っている生活支援の把握とネットワーク化を図る。

（２）住民活動の担い手の養成に向けたワークショップの開催

あんジョイ生活サポーターや認知症サポーターステップアップ講座受講者などを対象に、高齢者を支える制度の説明や住民活動の紹介、また学んだ知識を生かしたボランティア活動を考えるワークショップを開催。

６　介護予防の取組の充実

（１）町内会健康体操教室をはじめとする地域の介護予防に資する活動や身近な通いの場の拡充を目指し、高齢者地域生活支援促進事業（活動団体への補助金制度）の見直しを行う。

（２）地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、リハビリ専門職による活動の担い手への助言や手すりの設置、段差の解消等環境整備に関する助言を行う。

（３）元気な高齢者が活躍できる場や機会を充実するため、地域福祉マッチング交流会（社協主催）及び民間等によるシニア向けの仕事説明会（市主催）を開催する。

７　市民への啓発

（１）地域包括ケア市民フォーラム

日時：９月１日（土）午後１時から（講演会は午後２時から）

テーマ：人生の最終段階の生き方について話し合おう

～本人・家族・医療者～で行うアドバンス・ケア・プランニング～

講師：杉浦　真　氏（安城更生病院在宅医療連携推進センター長）

（２）　認知症を知る講演会

日時：１１月１７日（土）

講師：秋川リサ氏・女優